

令和7年度第3回北杜市図書館協議会会議録

1. 会議名：令和7年度第3回北杜市図書館協議会
2. 開催日時：令和8年2月10日（火）午後3時～4時40分
3. 開催場所：金田一春彦記念図書館 SV ホール
4. 出席者：協議会委員 佐野 恭子／佐野 隆／仁科 恭子／河合 美知子
白倉 美奈子／菫澤 ふみ子
事務局 中澤 徹也（中央図書館長）
河野 明美／大塚 美智子（中央図書館総務担当）
深沢 智穂（学校司書代表）
5. 欠席委員：飯田久美子／内藤 雅人
6. 教育長あいさつ
7. 会長あいさつ
8. 議事録署名委員指名：白倉 美奈子委員／菫澤 ふみ子委員
9. 議 事
 - (1) ほくと子ども読書の杜プランの進捗状況について
 - (2) 読書マラソンについて
 - (3) 令和7年度 北杜市図書館事業報告について
 - (4) 今後の予定について
 - (5) その他
10. 傍聴人の数：0人

議 事

- (1) 子ども読書の杜プランの進捗状況について

事務局：資料1に基づき、北杜市子ども読書の杜プランの進捗状況アンケートについて説明。

【質疑応答】

議 長：質問または意見があるか。

委 員：アンケートは以前から同じ内容で取っているのか。

事務局：第4次計画は令和6年度末に策定され、今年度から計画に沿って進めているため、本来であれば今年度から新しい形でのアンケートになるが、令和6年度末にはこの形式で取っているため、今年度で2回目となる。

委 員：アンケートの統計データは、あまり内容を変えないほうがいいと思う。また、問5の読書離れを防ぐために取り込んだことを、学校に聞くような設問になっているが、学校の立場では忙しい中でここまでのことを聞かれても大変だと思う。逆に、読書離れを防ぐために何か良いアイデアがあったら書いてくださいという方がよいのではないか。

委 員：問1の朝読書について、子どもたちが一斉に本を読むということは全国的には行っていると思うが、北杜市でもこのような朝読書をしているとは思っていなかった。この朝読書はどの

ような範囲までを言うのか。例えば、白州では私たちボランティアグループと図書館が連携して毎月朝読書に行っているが、このようなことも含まれるのか、それとも教室で朝の10分間みんなで本を読むことを指しているのか教えてほしい。

事務局：朝読書は、朝の10分間クラス全員で本を読むことを指している。ボランティアが学校へ行く場合も、朝読書の時間を利用してクラスに入ってもらおうと思うが、一般的に全国的な朝読書は、個人で10分間静かに本をじっくり読むことを朝読書と定義している。

委員：それは毎日やっているのか。

事務局：第4次計画を策定するときのアンケートによると、毎日実施している、週に数回実施しているなど、回数にはばらつきは見られた。学校によって、また小学校か中学校によっても、毎日行っている学校もあれば、週数回程度行っているなどの回答があった。また、回答は年度によっても違うため、今回もう一度アンケートを取り、集計結果も出すため、その結果を見ていただきたい。

委員：私たちは毎月各学年に伺っている。朝読書を毎日または週2、3回行っているということを知ることができなかったため、初めて朝読書の取り組みについて知ることができた。

事務局：朝の読書には原則があり、全員でやる、先生も一緒に読む、毎朝やるなどと決まってはいるが、毎朝というところがなかなかできず、アンケートの回答に困っている。学校行事前は、朝読書が全部潰れる月もあり、週に何回（例えば月水金など）と決まりがあるとよいが、学園祭前や合唱祭前は行っていないため回答に迷う。しかし、中学校の実態としては、1日の始まりに朝読書があると、生徒が席について皆で本を読むことで授業がスムーズに始まる、落ち着いて授業に繋がると感じている。

委員：小学校に関しては、朝の会の前に、朝読書、パソコンのキーボード練習、ドリルの時間などがあり、なかなか毎日朝読書に取り組むことができない中ではあるが、行っている。

委員：学校で朝読書に取り組んでいるのは、おそらく20年以上前からである。最初は国語科で進めて、北杜市も韮崎市もかなり努力して図書館と国語科で取り入れ、どこの学校でも朝読書は当たり前のことになっていると思う。学校行事やキーボード練習、ドリル練習などで毎日できないこともあるが、それでも20年以上定着してきている。朝の読書活動を学校に取り入れるときには、学校現場の中でも大変であったが、みんなで読むようになってから、子どもたちも落ち着き、本を読んで学ぶ子どもたちや、図書館に行く子どもたちが増えたと思われる。

委員：回答に1つ追加することは難しいと思うが、もう少し答えやすいような設問を検討した方がよい。数を正確に数えているわけではないので、感覚的なものも含まれてしまうと思う。また、先ほどの高校生への問い。取り組んだことというよりも、何か良いアイデアというならば答えられるのではないか。

委員：この内容でアンケートを取るのとは2回目ということだが、第4次子どもの読書活動推進計画を確認すると、以前は子どもに聞いたアンケートがあるが、子どもたちがどのように図書館に行っているか、何冊本を読んだのかという方が分かりやすいが、アンケートは今後もまた取る機会があるのか。

事務局：児童生徒一人一人を対象にアンケートをとるのは、5年間の期間の中で、中間年度に1度実施することになっている。

(2) 読書マラソンについて

事務局：資料2に基づき、読書マラソンの取り組みについて説明。

【質疑応答】

議長：質問または意見があるか。

委員：中学生のアンケートを見ると、読書マラソンを知らないと答えている子が26.2%もいるのはなぜか。

事務局：小学校に入学した時から読書マラソンを行っているため、中学生になって知らないと回答する生徒が多いことは疑問である。このような数字が示されることは予想していなかった。しかし、市内の小学生は、入学した時から、どこの学校の児童たちも実に熱心に読書マラソンに取り組んでいる。読書マラソンの推薦本も、高学年になるにつれて本が厚くなることもあり、すべての本を読み終えるかという、そうではない子どももいるにしても、読書マラソンの取り組みはおそらく知っていると思う。また、学校図書館においても、この冊子を配布し、学校司書や担任からも説明をしているため、知らないということはないと思われる。アンケートを取る時に忘れてしまっていたとしか思えない。

委員：我が家の子どもが正にこの通りである。中学校の授業参観に行った時、図書館の前に読書マラソンの表示があり、展示がしてあった。小学校の時も取り組んでいたのに、読んだのかと聞くと、知らないと言う。中学生になると意識が違うところへ移ってしまうようで、小学校の時には知っていたはずなのに…と、自分の子を見て感じた。

事務局：読書マラソンは、図書館ホームページにもおすすめ本として載せている。この冊子を見ると、書影がないので寂しいという意見もあると思うが、ホームページだと容量の制限もないため、もう少し興味を引くこともできるかと思う。

委員：小中学生だけではなく、大人向けはないのか。

事務局：我々が作ったものではないが、成人向けに送る本、敬老の日におすすめの本などのブックリストが出ている。

委員：大人向けに読書マラソンのようなことをしても、本好きな高齢者などは楽しく取り組むような気がする。そうすると、おじいちゃんやおばあちゃん、お父さんやお母さんが取り組んでいると子どもにも浸透するが、子どもだけだと「取り組みがある」程度の感じになってしまう。大人になってやる人は少ないかもしれないが、本を好きな人もいるので大人が取り組んでみても面白いかなと思う。

事務局：子ども向けの本を選ぶために担当になった職員は、推薦された本をできるだけたくさん読むようにしている。ブックリストの本の紹介文も、自分たちで考えて作成している。大人向けの読書マラソンとなると、対象範囲が広すぎて現実的には難しい。

事務局：大人向けには北杜市図書館広報誌を年3回発行しており、その紙面では、ここ数年3月1日発行の広報誌は、図書館職員が全力でおすすめする本を紹介している。これは利用者からも好評で、中には広報誌を持ち歩いて図書館に本を借りに行き、全部読みたいと意気込む利用者もいることを耳にしている。委員からの意見をヒントにして、広報誌を発行すると同時に読書マラソンのように取り組んでみても面白いかもしれない。

また、読書マラソンは、令和8年4月23日に発行予定の冊子からは書影を入れて作成する予定。書影が入ると、子どもたちが取り組む意欲もまた違ってくるのではないかと期待して

いる。

委員：近くのながさか図書館に行くようになり、回数を重ねるうちに、本棚から見るのではなく、入り口付近の棚を見ればおすすめ情報があることがわかってきた。また、ながさか図書館が面白いのは、例えば「2月生まれの作家」、「おすすめ本はこれ!」、今回のテーマ展示は「秘密」などと並んでいるため、何が読みたいか迷った時は、提案してもらった本を手に取り、読んでみたいと思うようになる。子どもたちも、このようなおすすめ本が紹介文と共に載っている冊子があると、読んでみたいと思うようになるのではないかと思う。

事務局：読者マラソンの本は、大人が読んでも面白くためになる本も選書されている。もちろん小学校低学年から高学年の本も、良い本が選書されている。また、乳幼児向けの絵本も、読み聞かせにおすすめできる本がある。読書マラソンで紹介された本を、学校での読書活動に活用していただきたい。この読書マラソンは、旧須玉町のすたま森の図書館で作成していたブックリストが土台となり、北杜市に合併してからも続いている。公共図書館と学校図書館が連携し、このようなブックリストを作成しているのは県内でも珍しいと言われている。子どもたちが、生涯にわたって本を読み続けていけるよう、これからもこの取り組みを続けていきたい。

議長：素晴らしい冊子なので、有効に活用して、読書の習慣化に結びつけていければと思う。

(3) 令和7年度 北杜市図書館事業報告について

事務局：資料3に基づき、令和7年11月から令和8年2月4日までの北杜市図書館事業報告について説明。

【質疑応答】

委員：図書館利用の登録者数は、申し出がないとカードを識別して除籍するということができないのか。

事務局：実績報告書の中は、実利用人数ということで、過去3年間にカードを使った方の数字は入れている。しかし、利用がないからと言って、勝手に削除することはなかなかできない。登録者数は意味のないような数字であるということは否めない。

委員：登録者数のうち、アクティブな人はこの実利用者数とほぼ同じだろうという見方をすれば良い。利用者数の延べ減少率に比べて、実利用者数は数も減っている。いずれも60%台で変化している。オレンジ色の利用者数が、平成21年度から令和5年度にかけて減少率が61%。実利用者数は減少率が約67.5%。個人の貸し出し冊数は63%で、いずれも似たような数字になっている。このデータから、どんなことが読み取れるか。

事務局：分析が難しいが、この現象を見る中で考えられるのが、中高生の利用がかなり減っているということがあり、もう少し細かい数字で年齢別利用状況なども抽出できれば明らかになると思う。かつては、この部屋も勉強するための来館者が結構いた。今は利用者が減り、時代の流れなのか、図書館離れになってしまっている。現状を踏まえ、図書館の本に親しんでもらうために、待っているだけではなく、こちら側から外部へ出向き、小・中学校、高校にも訪問することにも力を入れていきたい。

委員：このようなデータは、作るだけでなく、そこから何を読み取って次の活動にフィードバック

していくかということが大事だと思う。現場感覚で中高生の需要が減っているというのは、例えば年代別の利用状況をデータ化してみるなど。あとは市全体の人口の推移と、世代別の人口の推移、そういうものをいろいろデータ化していくと見えてくるものがあると思う。

委員：決算状況の人件費が気になる。図書館が減ることはないと思うため、できるだけボランティアを活用するなどして人件費を下げていかなければ、8館に行っても人があまりいないのに、図書館員だけはたくさんいるような感じが続くと思われる。10年後にもっと豊かな北杜市になっているために、ボランティアの活用にも目を向けてみてはいかかがか。

事務局：人件費が上がっているのは、職員を増やしているわけではなく、賃金が上がっている状況。最低賃金が上がればそれに伴って職員賃金も上がるということで、無駄な人員がいるということではない。利用が多い、少ないがあるが、施設には最低必要人数があり、1人では運営できない。最低で2人、有給休暇の取得等もあるため、代替職員も必要。最低の職員数を確保する中での運営はこれまでもやってきている。図書館については、今は8館を運営しているが、今後どうするのかという議論になったとき、職員数の見直し等も課題になってくるかと思われる。現状で減らすということは、なかなか難しい。併せて賃金の発生する仕事と、ボランティアをお願いしたいことは、ある程度線を引きながらお互いの役割を保っていく必要がある。

委員：時代の流れで図書館も変わることが求められているが、何年か経った時、図書館の大切さが必要になってくるのではないかと思うと、なんとか踏ん張って、新しいものを少し取り入れながら上手にやっていく方法を考えていけたらいいと思う。

もう1点、事業実施状況のウィキペディアは、地元を知る、地域を知る、失われていくものを保存する意味でも興味深いイベントだと思う。

議長：各委員からの貴重な意見に感謝したい。

(4) 今後の予定について

事務局：資料4に基づき、今後の予定について説明。

【質疑応答】

議長：新キャラクターの名前が何になったのか気になっていたが、「とどまる」というかわいらしい名前が決まって良かったと思う。

事務局：資料はないが、ながさか図書館で、毎年ビブリオバトルというイベントを開催している。中高生による書評合戦で、本を紹介し、視聴者がどんな本を読みたくなったかチャンプ本を決めるイベント。ながさか図書館では10年以上前から開催しているが、甲陵高校の生徒が紹介した本がチャンプ本になって山梨県のビブリオバトル2025に出場し、最優秀賞で表彰された。長坂で地道に行っているイベント活動が、県に繋がり、表彰されたことを報告させていただききたい。

議事(5) その他

委員、事務局ともになし。

閉会